



生活の中の
「なくてはならないもの」を
目指して



しんどう まさひこ
代表 進藤 正彦

〒018-1401
潟上市昭和久保字町後78
TEL:018-877-5303
FAX:050-3488-5606
<https://shindo-ds.com/>



HP



その場の雰囲気をガラリと変える照明器具

潟上市昭和に工房「進藤電気設計」を構える進藤正彦さん。大手電機メーカーに勤務した経験を持ち、退職後、平成22年に起業。平成25年には地元である潟上市に拠点を移した。進藤さんが展開するのはオリジナル照明器具ブランド「^{トウッドウー}twoodo」。「Light Base」はその一つであり、木製品の内部に電気回路を組み込んだシンプルなデザインで、光を透過するアイテムなどを上に置くことで、その場の雰囲気をガラリと変えてくれる。

工房の1階にあるショールームや自社ECサイトでの販売はもちろん、全国の雑貨店やインテリアショップなどからの引き合いがあり、老若男女問わず人気が高い。最近ではアメリカやデンマークなど、海外からの需要もあり、輸出も行っているという。コロナ禍には実店舗での販売が落ち込んだ分、ECでの販売に力を入れた。バッテリーは充電式で、平常時と非常時のどちらの時でも役に立つフェーズフリーな商品としての需要も増えている。

遊び心で作り、「楽しさ」を提供

ものづくりのベースは「楽しい」という気持ちであると語る進藤さん。

「賞をもらえばもちろん嬉しいですが、出すからには受賞したいと思ってしまうし、賞を取るための商品作りになってしまうことを懸念しています。本当は、使う人が楽しいと感じられる商品を作りたい。恐れずに言えば、私の商品は『なくてもいいもの』ですが、傍らにあることでそこに新しい空間が生まれ、嬉しくなったり、次第に愛着が生まれたりして『なくてはならないもの』にもなると思います。Light Baseをお使いの方から修理の依頼があった際に、愛用しているというお手紙をいただくこともあり、本当に嬉しいですし、それが一番の賞状だと思っています」。

これまでは主に小さい照明器具を開発・製造してきた進藤さんだが、今後はサイズの大きい商品も手掛けていきたいと語る。ものづくりに対する思いはそのままに、私たちの日常を灯し、彩りを添えてくれる商品づくりを続けていこう。



2階工房の様子。製造スタッフが細かな部品を丁寧に組み上げ、製造を行っている。



工房の1階は商品を展示・販売するショールーム。生活に彩りを与えてくれる商品ラインナップのセンスの良さが光る。



ショールームでは県内作家の作品とのコラボレーションも見られる。